

会議録（１２月定例会）

会議の名称	令和７年１２月 教育委員会会議定例会
開催日時	令和７年１２月１９日（金） 開会 午後３時３０分 閉会 午後４時５１分
開催場所	飯能市役所本庁舎別館 会議室３
議長氏名	教育長 中村 力
出席委員	五江渕 幸子（教育長職務代理者） 宮内 保行 大澤 修 半田 収
説明者の職・氏名	教育部長 吉田 昌弘 教育部参事兼学校教育課長 福島 真実 教育総務課長 宮崎 健司 学校教育課副参事兼教育センター所長 大澤 章孝 学校教育アドバイザー 青柳 義久 生涯学習課長 木村 由里子 生涯学習課公民館管理担当課長 熊澤 志津代 スポーツ課長 青山 一喜 図書館長 紫藤 悦子 博物館長 尾崎 泰弘
会議の公開・非公開	専決報告の（１）については、人事案件であるため非公開とした。
傍聴人の有無	５人
書記	教育総務課教育委員担当主事 小川 遼

議題及び議事の概要

議事日程及び主な議題、議事については以下のとおり

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長の報告
- 5 報告
 - (1) 飯能市教育研究会研究発表会について
 - (2) 第59回飯能市少年サッカー大会の開催について
 - (3) 第24回奥むさし駅伝競走大会の開催について
 - (4) ブックスタート事業におけるガバメントクラウドファンディング®
受付終了について
- 6 専決報告
 - (1) 飯能市教育委員会事務局等一般職人事について
- 7 その他
- 8 次回開催について
1月定例会 令和8年1月23日(金) 午後3時30分
- 9 閉会

4 教育長の報告

別紙資料により、教育長、教育部長及び各所管課長から報告があった。

【教育部長の報告についての質疑、意見及び答弁】

委員	<p>山口議員から、スペシャルサポートルームに関する質問があり、その対応状況について説明がありました。</p> <p>私自身、週1回ボランティアとして当該取組に関わっているのですが、先日、直近の振り返りの内容について共有がありました。</p> <p>利用状況や、不登校児童生徒数が減少傾向にあることを踏まえると、スペシャルサポートルームは、不登校に関する課題への対応として重要な役割を果たしていると考えられます。</p> <p>今後も本取組を適切な形で継続し、不登校児童生徒の減少につなげていくことが重要であるとの認識が示されました。</p>
教育長	<p>他に質疑はございますか。</p>
委員	<p>制服に関する件について、武田議員から発言がありました。</p> <p>飯能市の場合、制服でということですが、夏季の暑い時期などは、Tシャツや体育着の短パンを着用するなど、各学校が季節に応じて、こどもたちの負担に配慮した形で対応しており、今の状況でもよいのではないかと感じております。</p> <p>登下校の様子を見ても、夏季においては比較的軽装なこどもが多く、各学校において工夫がなされていると感じております。</p>

【各所管課長の報告についての質疑、意見及び答弁】

委員	<p>スポーツ課に関しまして、奥むさし中学校駅伝の開催、大変お疲れ様でした。</p> <p>毎年参加させていただいておりますが、特に昨年、今年につきましては、地元の中学校在比較的上位に入り、役員や地域の方々が大変喜ばれていたことが印象深く感じられました。</p> <p>また、参加しているこどもたちを見ておりますと、将来が非常に楽しみだと感じました。こどもたちの夢や未来へつな</p>
----	--

スポーツ課長	<p>げるためにも、手法を工夫するなど形を問いませんので、ぜひこの取組を継続していただきたいと改めて感じております。</p> <p>所管課といたしましては、委員と同じ思いでございます。奥むさし中学校駅伝を含め3つのスポーツイベントにつきましては、本市の財政状況が厳しく緊急財政対策に伴う事業の見直しにより、市としての休止という決断に至ったものでございます。スポーツ課では、来年度の飯能新緑ツーデーマーチなど実施に向けて、参加費の値上げなどを検討し準備を進めていたところでしたので、非常に残念であるという思いでございます。</p> <p>現時点では、令和9年度以降のお話は出来ませんが、今後、様々な声があった場合には、真摯に受け止めてまいりたいと考えております。</p>
教育長	他に質疑はございますか。
委員	<p>応援に来てくださっていたご家族の方々が、自身のこどもや孫の勇姿を見て、非常に元気をもらっているといったことで、その場にいらした方がわざわざ寄ってきてくださり、「ぜひ続けてほしいとお願いしてください」というお声をいただきました。</p> <p>こうした皆様の声も、今後の検討に際しましての一つの材料としていただければと考えております。</p>
教育長	他に質疑はございますか。
委員	<p>私も今の奥むさし中学校駅伝について申し上げます。市としては苦渋の決断ということで、次年度以降の中止という方向ではありますが、一部の声の中には、市主催ではなく民間の任意団体による主催での開催も可能ではないか、といった意見も聞き及んでおります。</p> <p>大会実施に関するノウハウ等につきましても、もしそうした要望があった際には引き継げるような状態にしておいていただきたいと考えます。また、数年後に市の方で改めて開</p>

教育長	<p>催できるようになった際、先ほど教育部長からもお話がありましたとおり、一度休止したものを再開するのは容易なことではありません。</p> <p>いつ再開することになっても円滑に移行できるよう、書類の整理等を含めた準備を整えていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>他に質疑はございますか。</p>
委員	<p>博物館の発表の中で「レアなおふだ」の件がございましたけれども、そのように着々と準備を進めて今回の展示に至ったというお話を伺い、職員の方々の熱意を感じ取ることができました。</p> <p>深く感謝申し上げますとともに、次回もまた期待しております。</p>
教育長	<p>他に質疑はございますか。</p>
委員	<p>少年の主張大会につきまして、私の方で今回一次審査を担当させていただき、当日の発表を拝聴いたしました。私自身の感想としましては、こどもたちが書いた作文を私自身が読む際の印象と、実際に本人がその場で発表するのとでは、主張の伝わり方がかなり違うものだと感じました。やはり本人による発表というのは、非常に素晴らしいものであったと思っております。</p> <p>小学生の中には原稿を読まれている方もいましたが、中学生になりますと、堂々と原稿を見ずに発表されていたのが非常に印象的でございました。中学生の力強さといえますか、飯能市に対する思いが強く伝わってくる内容でもありました。</p> <p>また、小学生につきましては、教育委員会の事業である広島平和記念式典の派遣事業に参加された方の主張も多かったように感じます。戦後 80 年という年でもありましたので、戦争について考えたこどもたちの作文や主張が多く見受けられたと記憶しております。</p> <p>こどもたちにとっても、また発表を聞く保護者にとっても</p>

生涯学習課長	<p>非常に有意義な事業であると思いますので、引き続き継続できるようお願いいたします。</p> <p>今、委員からお話のありました一次審査につきまして、改めて御礼申し上げます。少年の主張大会は、飯能市教育委員会と青少年育成飯能市民会議との共催で実施しておりますが、この度の緊急財政対策におきまして、中学校駅伝と同様に、市の事業としては中止という判断に至っております。</p> <p>しかしながら、青少年育成飯能市民会議におきまして、何とか継続できないかというお声がございます。事務局を担ってきた市のノウハウを、当初から全て市民会議側で引き受けることは難しいという意見もありましたが、継続への意欲も示されております。そのため、形が変わったとしてもどのように継続が可能か、現在、会と共に協議を進めているところでございます。</p> <p>事務局といたしましても、できる限り継続できるよう、尽力してまいりたいと考えております。</p>
--------	--

5 報告

(1) 飯能市教育研究会研究発表会について

資料により、参事兼学校教育課長から報告があった。

【報告（1）についての質疑、意見及び答弁】

委員	<p>教育長とともに原市場中学校を訪問いたしました。</p> <p>学力向上のための根幹である基礎的・基本的な学力の充実を図るという課題の解決に向け、授業づくりや特別活動、学習習慣の定着などを重ねてきた成果が、当日の生徒と教員の生き生きとした取組によく表れていたと感じております。</p> <p>当日は、ご指導をいただいている武蔵野大学の永作教授が、体調不良のためリモートによる講演となりましたが、非常に丁寧にご対応いただきました。「やる気とライフキャリア」と題したご講演では、「すべきことをすると、できることが増える。できることが増えると、やりたいことが見つかりやすくなる。やりたいことが見つかり、次にすべきことが明確になる。こうしたサイクルを繰り返していくことでキャリア発達が促され、今の学びと将来を結びつけて考え</p>
----	---

	<p>られるようになり、学習意欲が高まる」というお話をいただきました。</p> <p>その根底には、信頼関係の構築と自己有用感の高まりがあるのだということを、中学校の発表を通じて改めて参加者の皆様とともに学ばせていただいたと考えております。</p>
教育長	<p>他に質疑はございますか。</p>
委員	<p>私は富士見小学校を訪問いたしました。授業は4年生の国語「ごんぎつね」と、5年生の理科「電流と電磁石」の2つでございました。指導案について、国語では「デザインシート」と呼ばれる新しい形式のシートを用いた授業が行われておりました。また、研究協議会や全体会の進め方も従来とは大きく異なり、授業をした教員とその授業に関わった教員12人による討論を周囲が参観する形式や、4人グループごとに段ボールに意見を書き込む「ラウンドスタディ」という手法での話し合いが行われました。研究主任からも「研究発表のための研究ではない」という方針が明確に示されておりました。</p> <p>佐藤学先生によるご指導では、「こどもたちのつまずきや困りごとを全体で共有し、グループで考え、みんなで解決していくことが重要である」というお話をいただきました。</p> <p>全体を通じて感じた点としては、まず一点目に、チャイムがない環境での授業の区切りについてです。いつ始まり、いつ終わったのかが判然としない面があり、意欲的に継続しているこどももいれば、片付けを始めているこどももいるなど、一連の流れとしての柔軟性と、けじめとの兼ね合いをどのように捉えるべきかという点に課題を感じました。二点目に、公開授業が中学年・高学年の若い男性教員2名のみであった点です。低学年においてどのような取組がなされているのか、実践を拝見したかったという感想を持ちました。</p> <p>最後に、教育改革における若手教員等の育成についてです。対話や学びの改革を進めることは重要ですが、基礎基本を習得させる力と並行して、実際に授業を成立させる力を養う必要があると改めて感じました。話し合いに時間を要する分、カリキュラムどおりに進行させるには高度な指導技術や</p>

<p>教育長</p>	<p>学級経営、人間関係の構築力が求められます。限られた時間内で学習を成立させるための指導力、あるいは若い先生方がそこへ到達できるような学校全体での指導体制の必要性を強く感じた次第です。</p> <p>他に質疑はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>私は加治東小学校を訪問いたしました。「対話し挑戦する児童の育成～学びを教室だけにしない～」をテーマに、一日の大半を過ごす授業において、「安心安全」を土台とした主体的なこどもの育成を目指した研究発表でした。当日は3クラスでの発表予定でしたが、低学年のクラスがインフルエンザによる学級閉鎖となったため、4年生と6年生の計2クラスを見学いたしました。</p> <p>4年生のクラスでは、「ユネスコ無形文化遺産になった秩父夜祭と川越まつり」について学習していました。また、6年生のクラスでは「詩を味わおう」と題し、木村信子氏の詩「未知へ」を用いた学習が行われておりました。</p> <p>どちらのクラスにおいても、教員が一方的に教えるのではなく、こどもたちとしっかり対話をし、その意見を聴きながら授業を進めていた姿が印象的でした。地域柄、秩父夜祭や川越祭りはこどもたちにとってイメージが湧きにくい面も見受けられましたが、担任教員が秩父出身ということもあり、非常に有意義な授業であったと感じております。</p> <p>その後の講演会では、研究発表にご尽力いただいた茨城学びの会の根本光子先生よりお話をいただきました。学び合いは、知恵の「出しあい」「貰いあい」「磨きあい」であり、学校は、学力向上の場であると同時に人間関係づくりの場でもあり、生きる力をつける場所であり、こどもに安心感・安全感のある教室づくりが必要であるとの内容でございました。</p> <p>また、アメリカ訓練研究所の研究発表によると、学習内容の定着率は「他人に教えた時が最も高い」とのお話があり、私自身の話ですが、学習内容の理解について「自分で理解しただけではだめで、その知識を友達に教えて、その友達が理解し、正解したときに初めて、自分が理解した」となる、と中学時代の恩師に言われたことを思い出し、深く共感した次</p>

	<p>第です。</p> <p>学びを教室だけにしないという点については、今回の参観だけでは確認しきれない部分もありましたので、今後の学校公開や各種行事を通じて、引き続きその取組を見守っていきたいと考えております。</p>
--	--

(2) 第59回飯能市少年サッカー大会の開催について
資料により、スポーツ課長から報告があった。

(3) 第24回奥むさし駅伝競走大会の開催について
資料により、スポーツ課長から報告があった。

(4) ブックスタート事業におけるガバメントクラウドファンディング®受付終了について
資料により、図書館長から報告があった。

【報告(4)についての質疑、意見及び答弁】

委員	<p>まずは、目標達成おめでとうございます。我々も安堵しております。</p> <p>今回、事業の趣旨にご賛同いただき目標を達成できたわけですが、次年度以降に向けていくつか留意すべき点があると考えております。</p> <p>発表報告によるとガバメントクラウドファンディングRは、1回目よりも2回目は寄付が集まりにくくなる傾向にあると聞いております。また、市の緊急財政対策下において「市にお金がないから、趣旨に賛同していただいた方から寄付を募ればよいのではないか」という安易な考えに陥るのではないか、という懸念もございます。</p> <p>ただ、本件は飯能市における成功事例でありますので、他部署からの求めがあれば積極的に情報共有を行っていただきたいと考えております。一方で、市内だけでなく、いかに市外の方々から多くの寄付をいただくかという視点が重要です。市内の寄付に頼るのみでは、結果として市の中での予算の組み替えに留まってしまうため、次回の実施に際しては検討が必要であると感じております。</p> <p>次に開催時期についてですが、今回は9月から3ヶ月間という期間設定でございました。例えばこれを1、2ヶ月ずら</p>
----	---

図書館長	<p>し、奥むさし駅伝などのイベント時期に合わせることができれば、市外の方への情報提供をより効果的に行うことができ、さらなる寄付につながったのではないかと考えます。時期の選定についても、次回以降の検討材料としていただきたいと思います。</p> <p>何はともあれ、開始当初はスロースタートな印象もあり、目標達成を危惧しておりましたが、最終的に目標を完遂できたことは非常に喜ばしい結果であると受け止めております。</p> <p>ご意見をいただきましてありがとうございます。初めての実施を通じまして、やはり容易なことではないという印象を受けました。今回は、関係者の皆様方からの温かいご支援があったからこそその結果であると実感しているところです。</p> <p>ご指摘のあったとおり、開始時期の設定やSNS等による発信力といった点につきましては、課題が見えてまいりました。今後、どのような形になるかは未定ではございますが、今回いただいたご意見を参考にしながら検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
------	--

6 専決報告

(1) 飯能市教育委員会事務局等一般職人事について

【非公開のため記載せず】

7 その他

なし